

～精神疾患は三大疾患の一つ～
こころの健康推進をわが国の基本政策に



こころの健康政策構想実現会議

2011年 4月27日 第11号



100万人署名推進ニュース

- 発行人：こころの健康政策構想実現会議
- 連絡先：〒337-0026 埼玉県さいたま市見沼区染谷 1177-4 やどかり情報館
100万人署名推進委員会
TEL. 048-680-1891 FAX. 048-680-1894
E-mail cocoro-syomei@mbf.nifty.com
URL <http://www.cocoroseisaku.org/>

こころの健康政策構想実現会議 「全国一斉街頭署名」実施のお知らせ

3月21日の全国一斉街頭署名は、直前の11日に発生した東日本大震災のため、実施日未定のまま延期になり、全国各地で準備を進めていた皆さんに、大変ご迷惑をおかけしました。全国一斉街頭署名は、3月11日現在、40都道府県・70か所の地域で、参加者1,000名以上と大きく盛り上がっていました。

テレビ・新聞などのマスコミも、全国一斉街頭署名の取り組みを注目し、取材申し込みが全国各地で活発化していました。

戦後初めて、当事者・家族・精神保健医療福祉関係者が、全国主要地域で、精神保健医療改革の署名を行う画期的取り組みが行われる寸前でした。

6月25日(土曜日)の実施を決定

4月に入り、西日本から「大震災や福島原発で、東日本での街頭署名が困難なら、西日本から街頭署名を実施し、全国に元気を届けたい」という声も出されるなど、少なくない地域から、街頭署名に対する方針提起を求める声が出されてきました。このような声を受け、4月24日「こころの健康政策構想実現会議」運営委員会、100万人署名推進委員会では、6月25日、実施可能な地域で一斉街頭署名を行うことを正式に決定しました。

震災地での「包括型地域生活支援センター(仮称)の設置」を求めて

24日の会議では、震災支援についても話し合われました。構想実現会議では4月7日に発表した「震災復興緊急提言」(詳細は100万人署名推進ニュース 号外第2号, 2011.4.9)を社会に広く伝え、その実現を求めることで復興支援に寄与していきたいと考えています。街頭においてもこころのケアも含めた生活丸ごとを支えるため仕組み、震災復興のための「包括型地域生活アウトリーチセンター」の実現を訴えていこうということになりました。

そのため全国で配布するビラは、すでに準備済のこころの健康を守り推進する基本法の制定を求めるビラに加え、わかりやすく緊急提言を伝えるビラを作成し、緊急提言の内容を訴える桃太郎旗を作成することにしました。

国会内のフォーラムも実施

24日の会議では、6月に「フォーラム」を開催し、超党派の多くの議員の皆さんのご参加を求め、震災復興の緊急提言とこころの健康を守り推進する基本法の理解を深めていただき、国会内の世論を大きく盛り上げることも決めました。

全国一斉街頭署名の準備開始を呼び掛けます

全国一斉街頭署名は、大震災で一旦延期をしましたが、この震災で構想会議の提言の重要性はさらに明らかになりました。全国一斉街頭署名の成功は、100万人署名運動を成功させる重要な土台です。大震災によって、こころの健康政策の重要性が国民の中に急速に広がっています。街頭署名の取り組みの再起動をお願いします。